

地域共生ステーションづくりワークショップ

北のステーション部会（第1回） 結果報告

1 概要

（１）日時 平成25年4月24日（水）19時から21時30分まで

（２）場所 文化の家 2階 講義室2

（３）参加者

- ・参加者 13名
- ・報道機関 1名
- ・事務局 2名

（４）配布資料 別添のとおり

2 内容

地域共生ステーションについて

（事務局）

地域共生ステーションは、市民のみなさんが気軽に集まり、語らい、地域における様々な取組みを行うための拠点となる場所です。

これまで、小学校区ごとのステーションについて検討を進めるため、「次のステーション部会」を立ち上げ、各小学校区を「まち歩き」しながら、ステーションの取組として必要なことは何かを考えてきました。

（参加者）

「次のステーション部会（第4回）」において、北小学校区を「まち歩き」し、北小学校区のステーションの取組みとして何が必要かを考えました。

北小学校区は、新しい人、昔からいる人が混在するまちという特徴が見えてきました。新しい人、昔からいる人を結びつけるためにはどのようなことが必要か、地域の活動の拠点となるステーションはどのように使っていくのか、まずは地域住民の皆さまの意見を聞きながら考えていこうということとなりました。そのために、まずは地域住民・地域団体のみなさんの幅広い参画を得ながら、北小学校区の地域共生ステーションについて検討を行うため、「北のステーション部会」を立ち上げることとなりました。

ワークショップ

クラフト紙にペンで線を引き半分に区切り、半分のスペースを使い、地域のために自分ができること、やっていることを絵で書きだし、発表を行った。その後、クラフト紙の残りのスペースに、これから地域でやりたいことを書きだし、発表を行った。

できること、やっていること

・ 防犯パトロール ・ 朝のラジオ体操 ・ 挨拶運動 ・ 落語会の開催 ・ 障害児と関わるボランティア活動 ・ 野菜作り ・ 農園ボランティア ・ 草掛防犯ガード隊 ・ 夜のパトロール ・ 防災啓発活動	・ まきづくり （災害時にはまきを配布したい。） ・ がんこおやじの会 （餅つき、そば打ち、ゴミ拾いなど） ・ 要約筆記 ・ 豆腐屋 ・ 香流川の清掃 ・ 香流川ウォーク ・ 環境見本市
---	---

これから地域でやりたいこと

・ ステーションに人が集まれるきっかけとなることを考えていきたい。 ・ 訪れる人みんなが、居心地が良いと感じてもらえるような地域共生ステーションづくりをしていきたい。 ・ 小学校に子供たちが地域の大人と交われる場を作りたい。人生経験豊かな大人達が、自分の特技を子供たちのために披露できる場をつくれたら良い。 ・ ステーションで不登校児の居場所づくりをしたい。 ・ 各小学校区にステーションができれば、餅つき大会をしてステーション同士で交流できる仕組みをつくりたい。 ・ 女みこし大会。女の人がみこしをやることで、子供たちも集まれる仕組みがあれば良いと思う。 ・ 香流川を中心にした緑のまちづくりのために、香流川の自然を守り、生きている川を残していきたい。また、香流川ウォークをみんなで盛り上げていきたい。
--

- ・ 障害を持っている人でも活躍できる場をステーションにつくっていききたい。
- ・ 長久手市を、住んでいるとわくわくする、他の市の人から長久手に住みたいと思ってもらえるようなまちにしていきたい。
- ・ 子ども、お年寄り、お母さん世代…様々な世代が支え合うまちをつくっていききたい。
- ・ 地域の孤独死防止ネットワークをつくりたい。長久手市でも孤独死が起きている。ステーションを孤独死を防ぐために地域全体で見守る拠点にしていきたい。
- ・ 今後起こると予測されている災害に備えて多くの人に避難訓練に関心を持ってもらいたい。多くの人に行きたいと思ってもらえるような楽しくできるまちの避難訓練を考えていきたい。
- ・ 地域の空き家、集会所を使い、地域みんなでお店をやったり、また、畑を管理し、野菜作りなどができたらいい
- ・ 公園のトイレクリーン作戦。まちの公園のトイレがきれいでなければまちづくりはできない。日本一の福祉のまちにするためにまずはまちの公園のトイレをピカピカにしていきたい。

参加者から出された様々な意見を踏まえ、自分たちで地域でできることについて考えていきました。

（参加者）

これまでの皆さんの意見の中で、公園のトイレ掃除の意見がとても印象的だった。地域の公園のトイレを地域住民の力でいつもきれいに保てるのなら、これから目指す長久手市の地域づくりはできてしまうのではないかと思った。どうしたら地域の公園のトイレを地域の人できれいにしていけるのかを考えていきたい。

（参加者）

地域共生ステーションの活動はそろそろ具体的に始めていく時期だと思う。建物ができていなくても身近なところから少しずつ始めていけばいいと思う。トイレ掃除を地域共生ステーションの活動の一つとして考えてってはどうか。

（参加者）

川の清掃活動をしながら、市外も含め、公園のトイレを使用させても

らっているが、名古屋市のトイレに比べて長久手市のトイレは汚いと感じる。きれいなトイレは使っていてとても気持ちが良い。地域の力だけでなく、市でトイレの清掃を行うことも含め、市内の公園のトイレをきれいにするための対策を考えていきたい。

（参加者）

公園は災害のときの一時避難所にもなる。そのためにも公園のトイレはきれいであるべきだと思う。

（参加者）

公園の管理は市が担っている。トイレをきれいにする初めの一步は市からやるべきではないか。そこに市民が参加していけばよいと思う。ただ、市民に無償でトイレ掃除をしてもらうのは市民のやる気が続かないのではないか。続けられるように、市がトイレ掃除をする市民に報酬を支払うようにするべきだと思う。

（参加者）

地域の防犯パトロールは日頃お世話になっている地元に感謝の気持ちを込めて行っている。それと同じように、トイレ掃除も、地域の公園をきれいにしていきたいと思いますと呼び掛けていけば、地域活動の一環としてやっていけるのではないか。

（参加者）

長久手市では昔、道役という習慣があった。年に一回住民が地域の道をきれいにする取り組みだったが、区画整理が始まることによって次第になくなっていった。労働を奉仕することによって地域と繋がっていたそのような制度を見直すのもいいかもしれない。

（参加者）

やるのなら、まずは志願という形で人を集め、とりあえず始めてみる。どこまできれいにするかというある程度の基準も決めて行くと良いと思う。

（参加者）

トイレ掃除は良いことだが、若い人は集まらないのではないか。トイレ掃除をやりたい人でやりましようと呼び掛けても、地域のために日頃

から活動している特定の人が集まるだけで、その人達の仕事がまた一つ増えるだけではないか。

（参加者）

誰かがやらなければ、公園のトイレは現状のままだ。ここに来ている人たちは、地域のために何かしたい気持ちを持って集まってきている。まずは気持ちのある人でやり始めるべきではないか。

（参加者）

トイレ掃除は確かに始めは特定の人ができることになるかもしれないが、トイレがきれいになれば、利用する人は気持ちよく使うことができ、少しは影響を与えられる。そこからスタートしても良いのではないか。

（参加者）

若い人だけが来ないのではなく、どの世代であっても呼んでも来ない人は来ない。また出たくても出られない人もいる。どうすれば来るようになるのか、出たくても出られない人がいるのなら、なぜ出られないのかを考えていかなければいけない。

（参加者）

昔と違い、今は父親だけでなく母親も働いている。忙しくてボランティアをする暇もない。そういう状況をどうしていくかをステーションで考えていかなければいけない。

（参加者）

もし、有償でお金をもらえるのならば、トイレ掃除をして貰ったお金を地域のための別の活動に使っていけるかもしれない。

（参加者）

香流川の清掃を毎月やっているが、清掃活動に参加したことのある人は呼びかけをしなくても参加してくれる。川の清掃は気持ちがいいものなので、一度経験すればまた参加したくなる。でも、トイレ掃除はそうはいかないのではないか。きれいになれば喜んでもらえるが、自分で進んでやろうという気持ちにはならない。やるならば有償にして人を集めるべきではないか。

（参加者）

トイレ掃除を続けていくには、実際にトイレを使う人からの“ありがとう”の反応がないと、気持ちが續いていけないと思う。見えないところでコツコツとやるのも良いが、実際に使う人と顔を合わせられるよう、例えば、トイレ掃除と、餅つきを組み合わせる等の工夫をすることも考えてはどうか。

（参加者）

地域共生ステーションの活動は、まずは一緒に何かをやることで生まれる信頼関係を作ることが必要だと思う。それは必ずしもトイレ掃除でなくてもいい。

（参加者）

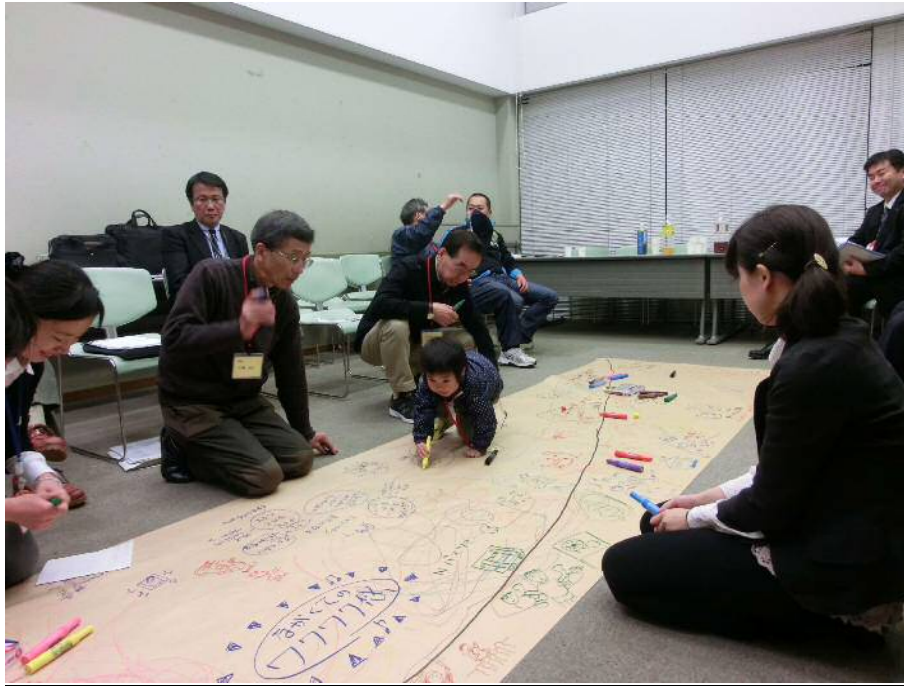
まずは、地域のために活動することを習慣化させたい。1カ月に一度、1時間でもいいから、どんなことでも良いので地域のために何かを始めていきませんかと働きかけをしていきたい。自分の時間の1%でもいいから地域のために何かをやる。もし、地域の人みんなが自分の時間の1%を地域のために捧げたら、大きな力になる。誰かが声をかけてそのきっかけを作ったらどうか。

（事務局）

今日話した内容を持ち帰り、考えた取り組みについてそれぞれもう一度整理してみましょう。次回の話し合いでは、活動の第一歩を踏み出すために何ができるのかを考えていきたいと思います。

（以上）

《ワークショップの様様》



クラフト紙にアイデア
を書く様子





参加者のアイデア









地域共生ステーションづくりワークショップ

北のステーション部会(第 1 回)

次 第

日時：平成 25 年 4 月 24 日（水）

19時から

場所：文化の家 2 階 講義室 2

1 地域共生ステーションについて

2 地域イベントについて

■次回の北のステーション部会は

_____ 月 _____ 日 () _____ にて開催

地域共生ステーションは、市民のみなさんが気軽に集まり、語らい、地域のための様々な取組みを行うための地域の拠点です。



これまでのワークショップ①

4/25 第1回ワークショップ

市長講話、参加者自己紹介&地域共生ステーションへの思い披露

5/13 第2回ワークショップ

NPO法人地域福祉サポートちたによる「ワークショップの進め方」の講義を受けました。

その後、グループワークで、地域共生ステーションのアイデアを出し合いました。

アイデア

見守り(子ども⇄お年寄)
開放的 たまり場
縁側 音楽 イベント・行事 多目的に使える部屋
気軽 人が集まる仕掛け カフェ 映画
居ごこちいい 料理 遊び 朝市 集会スペース 会議室



5/24 第3回ワークショップ

ヒト・モノ・コトの視点で、基本コンセプトにつながる「地域オリジナルの場づくり」について考えました。

点⇒線⇒面

ヒト

自治会 民生委員 PTA
子ども会 シニアクラブ
ボランティア団体 NPO
子ども・高齢者・障がい者・
主婦、学生・・・
コーディネーター キャスト
核になる人

モノ

- ・居心地のいい場所
- ・歩いて行ける距離にある
- ・小さなステーションもあり
- ・校区にこだわらない

コト

- ・地域ニーズに対応
- ・地域ごとのルールづくり
- ・悩んでいる人が集まれる仕組み
- ・ヒト、モノ、情報～様々なものが集まってくる仕掛け

これまでのワークショップ②

6/23 第4回ワークショップ

高浜市「南部ふれあいプラザ」を訪問し、施設の運営を行っているNPO法人高浜南部まちづくり協議会の事務局長に話をお聞きました。



7/13 第5回ワークショップ

これまでのワークショップで出てきた3つのキーワード「集う」・「生きる」・「創る」をもとに、基本コンセプトの導き出しを行いました。



8/5 第6回ワークショップ

「基本コンセプト」(キャッチコピー)をまとめました。

気軽に

誰でも(ひとりでも)おいで

こやあ
『ふらっと小屋』

～一人ひとりが主人公～

敷居が低いフラットな場所

自由と役割、そして責任

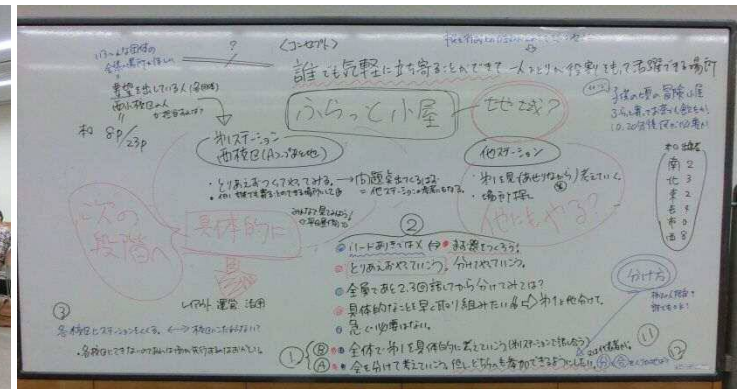
「誰でも気軽に立ち寄ることができて、一人ひとりが役割をもって活躍できる場所」



これまでのワークショップ③

10/18 第7回ワークショップ

ワークショップの今後の進め方について話し合いました。



第1ステーション部会

- 施設のレイアウト検討
- 施設の活用方法や地域活動の内容
- 施設の運営方法と運営組織づくり

★旧Aコープながくて西店を「第1ステーション」として具体的な検討を進める！

次のステーション部会

- 候補施設探し(まち歩き)
(空き家、空き店舗、公共施設、ほか)
- 地域活動のアイデア出し
- 各小学校区の検討組織づくり

★次のステーション開設に向けて検討を進めていく！

これまでのワークショップ④【次のステーション部会】

11/16 次のステーション部会(第1回)

小学校区ごとに、地域の状況を知るために、既存の公共施設を拠点に「まち歩き」などを行い、地域の状況を探りながら、地域に必要なステーションの機能や取り組みについて考えていくこととしました。

12/9 次のステーション部会(第2回)

東小学校区
「老人憩の家さつき荘」を拠点に「まち歩き」をしました。

アイデア

印象: 結びつきが強い地域

農業環境改善センター 地域ニーズ調査
東小学校 前熊寺
老人憩の家さつき荘 地域の人との交流



1/27 次のステーション部会(第3回)

南小学校区
「まちづくりセンター」を拠点に「まち歩き」をしました。

アイデア

印象: 個性が少ない地域

楓老人憩の家 ステーションの情報発信
まちづくりセンター 幅広い世代交流
長配・菖蒲池集会所 南児童館 ステーションごとの個性



これまでのワークショップ⑤【次のステーション部会】

3/17 次のステーション部会(第4回)

北小学校区
「文化の家」を拠点に「まち歩き」をしました。

アイデア

印象: 古い家、新しい家が
混在する地域

北小学校
集会所 幅広い年代の参加 イベント
空地家・空地店舗 地域のたまり場(縁側)づくり
香流川・遊歩道の活用

今後は、地域の方の幅広い参画を得ながら
「北のステーション部会」を立ち上げ、話し合い
を進めていくことになりました。

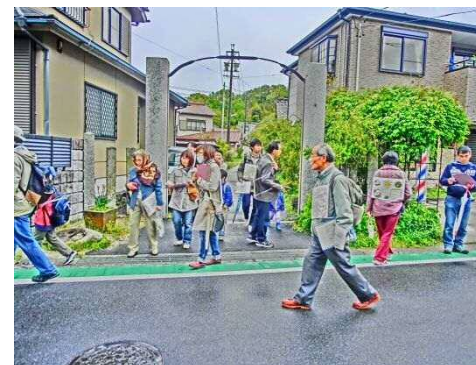
4/21 次のステーション部会(第5回)

長久手小学校区
「交流プラザ」を拠点に「まち歩き」をしました。

アイデア

印象: 昔ながらの
結びつきが残る地域

交流プラザ 空地家・空地店舗の活用
集会所 掲示板・フェイスブックの活用
安昌寺 新しい人との繋がりがつくり



参考

1/11 「ながくてやさい市」開催

地域共生ステーションPRイベントとして、旧Aコープながくて西店駐車場にて「ながくてやさい市」を開催しました。

参加者 約200人



2/13 視察

地域共生ステーションの運営について学ぶため、先進地視察を行いました。

瀬戸市 道泉地域交流センター
多治見市 Mama's Café(ママズカフェ)



5/19 次のステーション部会(第6回)

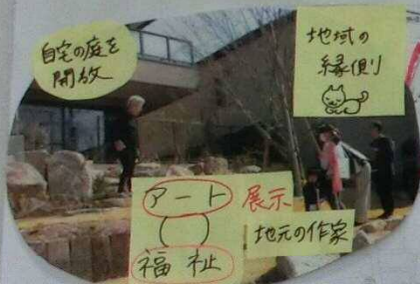
市ヶ洞小学校区
「蟹原集会所」を拠点に「まち歩き」をします。

古い家 新しい家 マンション
子育て世代
混在するまち

結び
つける

次のステーション部会(第4回)「地域のナゾを探ろう!」【北小学校区】@文化の家 平成25年3月17日

気軽に交流できる場が必要!
空き家 集会所 北小
夕目的室



ハードをまず考える?

それともソフトが先?

拠点
となる場所。

まずは
使い始める



どう使うか、まずは使う人の
声を聞いてみよう!!
STE
どう使うか。

たまり場? 幅広い
事務所? 年齢層の
意見

民生委員
PTA
自治会
パトロール隊
小学生
中学生
高校生
大学生
積極的に参加
北小
5・6年生
地域委員会

話し合い
だじ集まり
にくい。

気軽な
気持ちで
参加してもいい

イベント

落語

緑豊かな
まちを目指す

テーマ「新緑」
緑をめぐる
スタンプラリー

地域が
主体となる



緑の管理
↓
地域で



まずはやってみる!

北のステーション部会

立ち上げます☆

場所を
変えながら
やっていく。

食の
イベント

自分たちが
主体になる
地域の
課題を
見つける。

